

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年十二月度 入選句（投稿総数二千四百二十二句・小中生投句数千七百七十六句）

特選

選者 西田 拓郎

寄せなべを囲んで家族笑い出す 大垣市 下村 樹奈(小六)

寄せ鍋の具にも色々あるように、家族にもそれぞれの活動場所や考え方があります。それでも毎日いつしよに生活するのですから言い合いになることもあるでしょう。でも、あたたかい寄せ鍋を囲めば一瞬にして仲良し家族です。みんなでつく寄せ鍋には不思議な魅力がありますね。樹奈さんは「家族が笑い出す」という言葉で寄せ鍋と家族との結びつきをうまく表現しました。これはどの家族でも同じです。だから誰もが共感できます。家族にとって食卓は大事な場所なのですね。

サンタさんあっておれいをいいたいな 大垣市 鈴木 龍之介(小二)

サンタクロースはいつでもどこから来るのでしょうか。そんな疑問を持ちながらみんな大きくなります。愛情いっぱいプレゼントをもらった龍之介さんは「ありがとう」と言いたいですね。大丈夫ですよ。その気持ちはずでにサンタクロースに伝わっていますから。よい子に育ちつつある龍之介さんを見てサンタクロースはとても幸せでしょう。

すきやきのいとこんひっぱり出しにくい 大垣市 岩田 花林(小二)

大晦日にすき焼きをする家庭は多いようです。肉や野菜もおいしいけれども、味がよくしみていていとこんにやくもなかなかのものです。ところが、長くてつるつるしているので取り出しにくいなあといつも思っていました。花林さんも同じだったのですね。誰もが思っていることだけれども、まだ誰も言葉にしていないうまく表現しました。すき焼きのうまさ伝わってきます。家族の笑顔も見えてきます。

秀逸

焼芋でみんなの心ほっかほか 大垣市 中村 壮(小五)

めろんパンあみめこまかい十一がつ 大垣市 山田 たかひと(小二)

くつしたにねがいをこめるクリスマス 大垣市 し水 あいり(小二)

つららのねきばがたくさんはえている 大垣市 かわせ あやか(小二)

朝長の墓までとおい冬の空 大垣市 高木 優莉菜(小六)

妹をだくとたき火の暖かさ 大垣市 和田 唯海(小六)

きがつけばこたつにいるよかぞくでね 大垣市 伊藤 将輝(小二)

しもぼしらふんだらすぐになくなった 大垣市 今津 晴翔(小二)

ふゆのあさはっぱがないきさびしそう 大垣市 ながせ りょうた(小二)

大そうじいろいろんな物がでてきたよ 大垣市 川瀬 大志(小四)

入選

つららはねつんつんしていてつめたいな
 大垣市 きむら きざくら(八才)

くりごはんいっぱい食べて元気出す
 大垣市 奥野 柚月(小三)

おとしだまもらってためる子どもたち
 大垣市 渡辺 莉奈(小三)

冬の夜見上げた空に一番星
 大垣市 木村 ひな胡(小五)

落ち葉がね役目を終えてねているよ
 大垣市 松浦 稔理(小六)

いもほりで冬みんしてるさなぎいた
 大垣市 かわせ あやか(小二)

げんかんをいってきますと冬の朝
 大垣市 長澤 亮仁(小六)

席がえを気にして登校冬の朝
 大垣市 西田 芽生(小六)

家の屋根たくさん見つけた日向ぼこ
 大垣市 安田 悠斗(小六)

清らかな水となりで日向ぼこ
 大垣市 安田 竜斗(小六)

入選

太陽がねぼうをしてる冬の朝
 大垣市 奥村 怜(小六)

走るほどタイムは上がる冬の朝
 大垣市 高山 健慎(小六)

かえり道だれの手ぶくろわすれもの
 大垣市 わたなべ かいと(小二)

たこあげてぼくもお空をおよぎたい
 大垣市 傍島 倫(小二)

赤とんぼ太よう目に入れまっつか
 大垣市 阿部 竜之介(小四)

ゆきだるまいろんなかおでにらめっこ
 大垣市 畑中 ほのか(小四)

秋空へ鳳凰飛べよ金閣寺
 大垣市 山田 弘輝(小六)

秋の夜狂言の声ひびいてる
 大垣市 山浦 志恩(小六)

ポケットに手をいれたくなる冬の朝
 大垣市 中村 薫(小六)

おみやげをいっぱい買った秋の夜
 大垣市 伊藤 伶羅(小六)

選者吟

なまはげの泣く子さがして泣かせけり

西田 拓郎